

# 駒ヶ根館報

2025年  
7月8日

vol.172



■撮影者 匿名

## 公募写真テーマ『お気に入り』

十二天の森の中を流れる亀沢川とそこにかかる橋。  
その先のあたたかな木漏れ日のある景色。  
心地よいせせらぎと鳥たちの鳴き声のハーモニーが  
楽しめる癒しのお気に入りスポットです。

※今号の表紙写真は応募いただいた写真を使用しています。

次号 館報「駒ヶ根」173号

## 表紙写真募集テーマ 『祭り』

詳細は申込みフォームをご覧いただけ、各公民館へ  
お問い合わせください。

※申込締切は2025年9月11日(木)まで



## 赤穂

### 歌う達成感を叶える場所

駒ヶ根市で活動している混声合唱団明日歌の定期演奏会は個性的だ。団員同士が声を聴きあい歌声を揃えて作り上げる合唱は素晴らしい、しみじみと感動するが、それだけでは終わらないのが明日歌。男性合唱の『私は誰でしょう』や各自の個性を發揮して作り上げるポップステージは『劇団 明日歌』と呼ばれるほど。感動と笑顔を一度に体験できる演奏会なのだ。

その明日歌が結成された1984年から42年。指揮者不在の期間や様々な困難もありつつ、観る者をワクワクさせるステージはどのように作られるのか?合唱団結成当時から在籍している新井ご夫妻にうかがうと、「ステージでやりたいことを否定せず団員同士が楽しみながら構成を工夫している」「各自が得意な事に率先して取り組んでいる」と団員の主体的な活動が自由で伸びやかなステージにつながっているのではないかと語った。

かつて親と観た定期演奏会に感銘を受けて社会人になってから入団した方や、定年後に好きなことに打ち込みたいと入団した方など動機や年代も様々。団員が互いの事情を汲んで参加していることも長年にわたる団の存続につながっていると感じた。

2025年9月21日の定期演奏会では新たな試みが実施される。これまで客席の観客と一緒に歌う機会を設けてきたが、アンケートで「ステージで一緒に歌いたい」という要望が毎回あった。その声に応えて市民から希望者を募り『混声合唱のためのカントータ土の歌』から『大地讃頌』を含む2曲を明日歌とともにステージで演奏する。

気候も世情も不安定に感じる今だからこそ、私たちが立つ大地に思いを馳せて心に響く『土の歌』全曲と、市民も声を合わせる歌声を会場で体験してみませんか?この市民参加の『土の歌合唱団』に関する問い合わせは、明日歌ホームページへ。



混声合唱団 明日歌の皆さん



『明日歌』  
ホームページ

#### 分館紹介

No.7

### 福岡分館

2025年4月1日現在  
3,410人  
区加入世帯 1,554戸



## 赤穂

### 飯田線の歴史

1982年(昭和57年)に中央自動車道が全線開通し43年になります。現在では東京や名古屋に行くとき高速バスで移動される方も多いと思いますが、開通する以前は飯田線が唯一の交通手段でした。そんな飯田線の歴史を振り返ってみたいと思います。

かつては4つの私鉄(豊川鉄道、鳳来寺鉄道、三信鉄道、伊那電気鉄道)が1897年(明治30年)から1937年(昭和12年)に独自に整備し運行していたのですが、1943年(昭和18年)に国有化され飯田線となりました。

辰野駅から天竜峡駅間は伊那電気鉄道が1909年(明治42年)から1927年(昭和2年)の約18年の歳月を経て全線開通しました。

飯田線で駒ヶ根から豊橋まで片道約5時間かかりますが、景色を見ながらのんびりでき楽しい旅になると思います。

現在は駒ヶ根駅になっている赤穂駅は、1914年(大正3年)の開業です。1914年といえば第一次世界大戦が勃発し数年後には、スペイン風邪(今のA型インフルエンザ)が蔓延し、パンデミックになっていた時代です。2年後の1916年(大正5年)には赤穂村で電灯が使われ始めています。それまでは石油ランプを使用していました。当時はテレビもラジオもないでの、夜は早寝だったことと思われます。ラジオは1925年(大正14年)放送開始です。

余談ですが1951年(昭和26年)に開通した兵庫県の赤穂駅は、飯田線に赤穂駅が存在したので頭に『播磨国』(兵庫県西部の令制国名)の別称である『播州』を冠し播州赤穂駅とせざるを得ませんでした。1954年(昭和29年)駒ヶ根市の誕生で赤穂駅から駒ヶ根駅に変更されていますが播州赤穂駅は現在も同じ駅名のままであります。



太田切周辺S29年頃(博物館所蔵)

福岡分館の恒例行事『貸し切って文化展を開催しバンドのステージ発表。学によるロボット展示など。クラフト作品、絵画等数々までに多くの方にご来に終了した文化展、今年も

## 中沢

### こんにちは『中沢夢俱楽部』です！

中沢夢俱楽部は、中沢を盛り上げようと集った仲間たちです。2011年に中沢公民館の青年部として発足しましたが、その後幅広い年齢での活動ができるよう、『中沢夢俱楽部』と改名し現在に至ります。「子どもの笑顔あふれる場所には、大人も集まる。」そんな思いの中、中沢の夏まつりや文化祭、その他地域のイベントなどで、射的や輪投げなどのゲームや、ウインドチャイム、ゴム鉄砲、マイ箸の販売や工作体験などのコーナーを出店し、皆さんに楽しんでいただいているです。

また、中沢小学校を色とりどりのイルミネーションで飾り付ける夏と冬の作業も、私たちの一大イベントです。有志の皆さんとワイワイ、ガヤガヤ飾り付ける作業のとき、完成して夜空に輝くイルミネーションを見る瞬間、多くの皆さんに「奇麗だね！」って言ってもらえたとき、どの場面にも感動と楽しさがあり、私たちのモチベーションに繋がっています。ぜひ夜のウォーキング等で立ち寄っていただき、多くの皆さんに『中沢元気』を感じてほしいと思います。

中沢小学校の児童を対象とした『なかざわっ子わくわく通学合宿』は、私たちのメイン事業として毎年行っていましたが、新型コロナ感染症の影響で休止していました。この秋には6年ぶりに通学合宿を復活しようと計画しています。学校に通いながら夜間は公民館に宿泊するというプログラムですが、「地域の子どもは地域で育てる」を趣旨として、食材の提供をはじめ、調理の指導、銭湯への付き添い、地域学習の時間など、多くの皆様のお手伝いが必要となります。ぜひご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は中沢公民館(83-5125)までご連絡ください。

中沢夢俱楽部代表 湯澤英喜



夏まつりで賑わいを見せる射的

化展』です。赤穂公民館が新築移転されたこともあり、全館をました。当日は、ホールにおいて文化団体や赤穂南小学校金管室等では、しめ飾り教室、健康体操、ケーキ作り教室、駒工生デラリーには、園児や児童の作品をはじめ、区民による写真、の作品が並びました。リンゴやシクラメンの販売も行い、これ来場いただきました。分館部員の企画運営により大盛況のうち1月に開催予定です。ぜひ多くの皆さんお越しください。

## 東伊那

### 荒地から麦、そして地ビール・ウイスキーへ

伊那耕地在住の竹村勉さんは、2021年から二条大麦の栽培をしています。地域の農業委員の方から、「空いている土地があるから何か作ってみないか」と声をかけられたのがきっかけでした。その時、「ビールが好きだから麦がいいかな」と考えられたとか。耕作放棄地で草だらけだった土地は草が良い肥料となり、土地が肥えていたそうです。

56アールの土地に、秋、種を蒔き、麦の成長を待ちます。大変なのは草取り作業。除草剤は使はず、手で抜く必要があるため、ゴールデンウィークは家族、友人とともに働きます。大変な作業ですが、みんなで楽しんでやりたいとの思いから、一緒に汗を流した後、慰労会をしています。

その後は、6月頃に収穫し、本坊酒造に買い取ってもらいます。その一部を南信州ビール駒ヶ岳醸造所に分けてもらい地ビールづくりとなります。ただ、麦は収穫後3か月程度低温貯蔵庫に置く必要があるため、地ビールができるのは秋～冬。種蒔きから1年かかる、ようやく完成です。

竹村さんの麦はウイスキーにも使われています。ウイスキーは仕込みから商品になるまで最低3～5年はかかります。今年初めて東伊那産のシングルモルトのウイスキーが売り出されます。ブレンドウイスキーと違い、単一の蒸留所で蒸留・熟成・瓶詰めを行う為、蒸留所ごとに味が異なり違いを楽しむことができます。「夢は、毎年東伊那産の麦だけのウイスキーを作り、地元の方に買ってもらう。そして、味の良さを分かってもらうこと」と、将来を見据えています。

また、「やっていれば何がどうか見えてくる。少しずつ話をして仲間を増やしていきたい」と語る姿に、挑戦し続けることや人とのつながりを持つことの大切さに気づかされました。



家族と共に草取り



令和7年度

# 分館長・主事紹介



各地域の分館長・主事の皆さんです。  
さまざまな工夫を凝らした分館活動は既にスタートしています。地域を結ぶ各種事業にぜひご参加ください。

## 赤穂公民館

分館名	分館長	主事
南割	○ 嵐寄 守夫	久保田 仁
中割	倉田 操	安田 類也
北割2区	赤羽 知道	小原 文法
北割1区	向山 昭	森 博志
小町屋	氣賀澤浩史	○ 戸枝 昭人
福岡	吉澤 一義	福澤 智浩
市場割	白石 聰	清水 俊英
上赤須	入谷 吉博	浦野 光雄
下平	加藤 和彦	櫛田 正宏
町1区	伊藤 和喜	守屋 直樹
町2区	小池 貴彦	佐野 恭馬
町3区	西尾 則孝	山田慎太郎
町4区	三井 康孝	大山 崇人
上穂町	生田 治	岡 正幸

○会長 ○副会長 ★主事会長 (敬称略)

## 中沢公民館

分館名	分館長	主事
吉瀬	林 俊一	吉瀬 哲郎
永見山	山口 雅輝	山口 雅輝(兼)
菅沼	宮下 正広	所河 昭彦
下割	○ 竹村 淳	★ 澤崎 龍吾
中割	宮脇 久	白鳥 英之
上割	○ 田村 真	安藤 和巳
中山	竹村 正司	
大曾倉	春日 昌義	下平 一久
中曾倉	宮脇 博一	下平 誠
本曾倉	上村 優作	竹村 雅臣
原	小池 望	下島 正樹

## 東伊那公民館

分館名	分館長	主事
伊那	下島 豊一	★ 伊藤 明穂
栗林	伊沢 達也	小木曾武史
火山	○ 赤羽 敏彦	澁谷 浩之
塩田	小原 道彦	湯澤 敬浩
大久保	羽柴 裕二	萩原 道彦

## お知らせ

### 昭和100年・戦後80年 協議会70周年 平和講座

駒ヶ根市公民館協議会・上伊那教育会  
駒ヶ根市・駒ヶ根市教育委員会

#### 日 時

7月12日(土)  
午前10:00～11:30

#### 会 場

赤穂公民館ホール

#### 講 師

高坂 保氏  
(元駒ヶ根市教育長)



#### 聞き手

矢澤 静二氏

#### 演 題

「戦時体験から痛感する  
戦争と平和と教育と」

## 新任職員の紹介

よろしくお願いします

中沢公民館主事  
北原 舞奈



- 地区 町2区
- 趣味 スポーツ観戦

4月から中沢公民館主事としてお世話になっております。中沢地区の皆さんのお笑顔と温かさに触れながら、日々多くのことを学ばせていただいております。

微力ではございますが地域活動の発展に少しでも貢献できるよう地域の皆さんのお声をお聴きして公民館活動に取り組んで参りますのでよろしくお願ひいたします。

東伊那公民館主事  
小池 直樹



- 地区 町2区
- 趣味 野球観戦

4月から東伊那公民館に配属となった小池と申します!現在は町2区に住んでいますが、出身は東伊那です。幼少期から憩いの場であった、東伊那公民館で働けることに喜びを感じております。誕生から150年と長い歴史と伝統を持つこの東伊那という地域に、何か自分らしい色を加えていけるように頑張ります!

## 令和7年度 館報編集委員

今年度の、館報編集委員の  
皆さんをご紹介いたします。

池田 恵子  
上穂町

中島 覚  
北割一区

宮下満智子  
中沢

久保田たつ子  
東伊那

## 編集の窓

かつて冷房要らずであった伊那谷の夏は近年猛暑日となる日も年々増えているように感じる。電気代も上がり家計を圧迫している昨今、いかに効率よく快適な室温にするか。エアコンは起動時と、暑い部屋を冷ますことに消費電力が大きくなるため、次のことを心掛けている。  
①朝の室温が低いうちから28度設定で連続稼働。②扇風機を併用して室内に空気の流れを作り冷気を拡散。③窓の外によしすや遮光ネットを張って室内の温度を上げない。参考にしてみてください。(池田恵子)

連絡先

赤穂公民館 TEL.83-4060  
中沢公民館 TEL.83-5125  
東伊那公民館 TEL.82-4664

編集・発行

編集／駒ヶ根市公民館報編集委員会  
発行／駒ヶ根市公民館協議会  
印刷／株式会社宮澤印刷